



一般社団法人

衛星放送協会

Japan Satellite Broadcasting Association

2020年9月15日

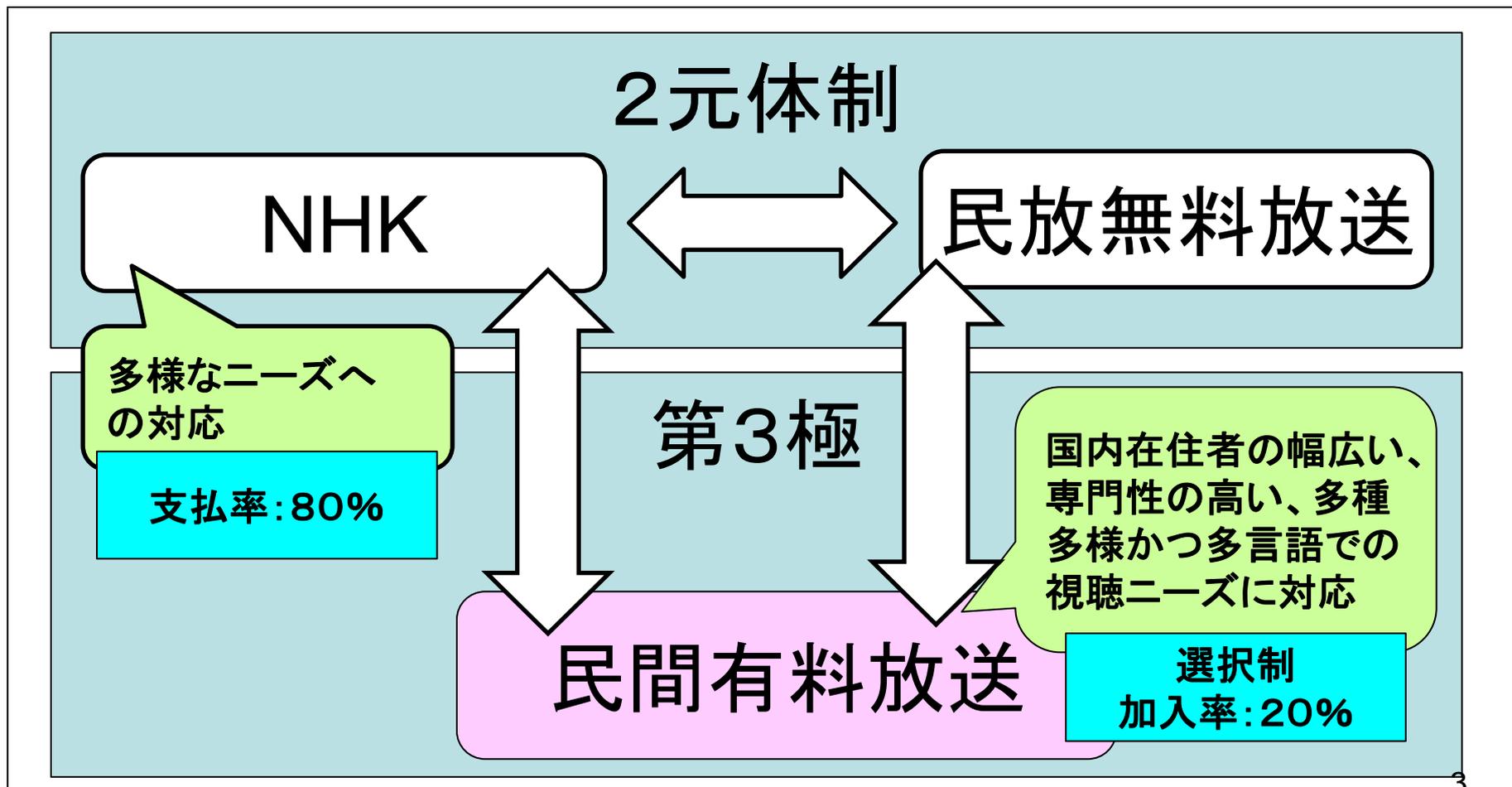
**有料衛星放送事業者 / 番組供給事業者の
業界団体としてNHKに期待すること:**

**I. NHK経営計画 (2021-2023年度)
(案)について**

II. 受信料制度について

I. NHK経営計画(2021-2023年度)(案)について

1. 全般 放送業界全体として視聴者の多様なニーズに応えるため、連携を深めるとともに、得意分野を深耕することが望ましい



1. 全般(続き)

換言すれば民間では採算的に対応、取り組みが困難な部分、分野を中心、重点的に展開いただくことを期待

2. 新時代へのチャレンジ

(1) 「3DやAR、VR、インターネットを活用したコンテンツ配信技術などを活用して、よりリアルな視聴体験をもたらす未来のメディア技術の研究・開発を進める」とありますが、その新しい技術に関しては民間放送事業者にも適切に情報開示され、放送メディア全体の発展に寄与することになることを要望します。

(2)インターネット活用業務について

著作権等の権利処理に関し、現状では多くの課題があるのが実態。当該権利処理の問題解決、簡素化等に向けてNHKには先導的役割と知見の開示、共有を期待。

国民が、放送のインターネット同時再送信を期待している状況から考えれば、理想的には、現状の全ての放送(民間放送・有料放送)の同時再送信が可能になることが望まれる。NHKが中心となってこの問題に取り組んでいただきたい。

3. 保有するメディアの在り方について

右旋の3波を、公共メディアとしての価値を維持しつつ2波への整理・削減を実施することについては、歓迎いたします。

- 整理・削減の時期を示される際は、視聴者に対する意向調査の内容を開示していただくことを要望します。

3. 保有するメディアの在り方について(続き)

- 一方で、放送関連業界全体として大きな投資を行った4K放送/左旋放送について、より一層の普及推進に向けて先導的な役割を期待します。
 - 4K映像制作コスト低減に寄与する諸技術実用化とその共有など含む
- 8Kの今後の展開は、衛星放送全体の問題として捉えるべきと考えます。

II. 受信料制度について

1. 全般

国内在住者が、より負担の少ない形で、NHKを視聴でき、更に専門性の高い多種多様なジャンルの視聴ニーズを満たす有料放送を視聴しやすい環境を構築するためにも、受信料の低減(特に衛星契約)化を要望する。

【国内在住者が有料衛星放送を受信するために必要な負担額】

NHK受信料	衛星放送メディア	月額（円）	12か月前払額（円）
地上契約		1,225	13,650
衛星契約 (地上契約含む)	右旋：BS1, BSP, BS4K 左旋：BS8K	2,170	24,185

※2020年10月からの改定後、口座振替・クレジットカード等継続払の場合



主な民間有料衛星放送サービス	主な商品（例）	月額（円）	年額（円）
スカパー！	基本プラン (11ジャンル50ch) ※下記注参照	3,960 (+基本料429別途)	47,520 (+基本料5,148別途)
WOWOW	3チャンネル	2,530	30,360

※注：基本プラン以外では1チャンネルから契約可能、かつ多数のセット・パック商品あり

2. 受信料制度

短期的には、出来る限りの経費を減らす方策で対応されることを望む。

長期的には、国民の平等性の観点から、新たな受信料制度(支払率100%)の検討も必要と考える。

3. 衛星付加受信料

衛星付加受信料に関しては、すでにインターネットなどに、実質的な値上げを検討しているのではないかとの批判も出ている。受信料の検討は、必要と考えるが国民の負担の増加につながらないことが前提と考える。



一般社団法人

衛星放送協会

Japan Satellite Broadcasting Association